

# 都小音研

令和2年3月5日 第62巻434号

発行所  
東京都小学校音楽教育研究会

事務所  
東京都世田谷区松原5-43-26  
世田谷区立松原小学校

## 音楽との出会い……

東京都小学校音楽教育研究会  
副会長 小池 義和  
(葛飾区立南奥戸小学校長)

みなさんは、何がきっかけで音楽の道に進まれたのでしょうか。親の影響・先生の影響・友達の影響……など、様々だと思います。

さて私はというと……小学生4年生までは、仮面ライダーに魅了され、長嶋選手や王選手に憧れ野球をやるような、音楽とは無縁な少年でした。そんな中、5年生の時に、運動会の鼓笛隊に興味本位で参加しました。しかし、6年の時は、もともと理科系が好きだったので、音楽クラブではなく科学クラブに申し込みました。すると、音楽クラブを希望した同級生に「何で音楽クラブじゃないんだよ!」と、取り囲まれ、しぶしぶ希望を変更し、音楽クラブへ入りました。

結局、存分に楽しんだのですが、それは続かず、中学生時代は、トラック野郎の映画に引き込まれ、自転車を電飾まみれにし、あっちこっち、そして遠くまで走りまくるアウトドア生活を送りました。そして、高校生時代。近所の中学の先輩に引っ張り込まれて吹奏楽部に入り、再び音楽の世界に戻ってきたのですが、特段優秀な成績をとるわけもなく、3年が過ぎました。

まあ、こんな感じでは、音楽大学など行きようがありません。普通の四年制大学で、小学校全科の免許を取ることを目指しました。しかし、ここで初めて、自分から進んで吹奏楽部の門を叩きました。「ちゃらい大学生活」は封印され、土日は、各方面からの依頼演奏の日々。自分たちでつくる演奏会。音楽の楽しさ、仲間とつくる喜び、相手を尊重する気持ち。今後の人生に影響を与える経験でした。

いよいよ、採用試験。小学校全科で合格。しかし、声がかかったのは音楽専科。所詮、吹奏楽は趣味の領域。音楽理論も音楽史もよく分からず、ピアノも苦手……どうすれば。ただ、自分の人生を振り返ると、道草をしていますが、いつも音楽が傍らにありました。そこで私は、決心しました。自分が音楽によって育ててもらったように、「子供自身が楽しさを見付けられる授業をしよう」「小学校を卒業しても、音楽の楽しさを胸に、色々な世界で活躍できる前向きな子供を育てよう」と。それからは、エンジン全開。吹奏楽部も熱を入れ指導し、頑張りました。退職まであと数年。最近、当時の教え子が訪ねて来ることが多く、「あの楽しさは一生忘れません」「あの時が一番人生で頑張った時です」「あの経験が今に生きています」と語る姿に接し、今更ながら音楽の教員でよかったと実感しています。

いよいよ新学習指導要領が本格実施されます。ほとんどの子供が、私のように、最初は音楽とは無縁だと思います。様々な課題のある現代社会を生きていくことを考えた時、音楽を愛好できることは、音楽の専門家にならずとも、人間的な豊かな心を失わずに生きることに不可欠です。今、私たち、音楽教育に関わる教育者には、大きな期待が寄せられています。結果として、我々の指導力を高めるための研修の場である「東京都小学校音楽教育研究会」の役割は一層高まっています。今後とも、所属の会員相互の連携のもと研究を深め、次代を担う子供の育成のために、共に努力をしていきましょう。



## 第56回 合唱祭

令和2年2月11日(火・祝)・16日(日)

府中の森芸術劇場どりーむホール  
23日(日・祝) 新宿文化センター

第56回合唱祭が、2月11・16・23日の3日間にわたって開催されました。今年度は55校の子供たちが日頃の成果を発表しました。

11・23日は、昨年度から引き続き二度目の講師の音楽家・望月哲也先生から、16日は、作曲家・三宅悠太先生から1校ずつの講評をいただきました。

終了後の事後研究会では、望月先生からは、①日本語の発音、発語、子音と母音を意識して、まず歌う前に準備することが大切です。②発声については、自分の頭の中にコンサートホールを描くようにしましょう。イメージをもっと高く上にすることで、響きが豊かになってきます。③メロディーの描き方については、合唱は縦線が重要ですが、それよりも次の音へ行く横の関係性も重要です。④母音を長く響かせ続けることを意識して歌いましょう。

三宅先生からは、①体の支えが出来ていないと声に芯が足りなくなるので、歌う時の正しい姿勢や表情に気を付けましょう。②フレーズを大きく捉えて、特にフレーズの終わりを大切に意識して歌ってみましょう。③ビートを体で感じて歌いましょう。④気分が膨らむようなブレスをしましょう。次のメロディーを表す色をイメージしてブレスをすると音色が変わってきます。など、具体的な指導の言葉がけを教えてください、多くのことを学びました。

運営に当たった会員やOBの方々など、3日間で150名近くの会員が参加しました。お二人の先生の専門的な発声指導と作曲者としての視点をもった温かいアドバイスをいただき、明日からの指導に役立つ素晴らしい充実した研究会となりました。



合唱研究会 研究部長 田中 裕美 (目黒・中目黒小)

## 第44回東京都小学校管楽器演奏会

令和2年2月15日(土)・16日(日)

22日(土)・23日(日・祝)

武蔵野市民文化会館大ホール

上記の演奏会が4日間にわたって開催されました。今年度は全60校の出場予定でしたが、諸般の事情で4校が辞退し、56校が日頃の練習の成果を披露しました。

当日、子供たちは目を輝かせながら自信に満ちあふれた姿で、素晴らしい演奏を繰り広げていました。これまでの練習を通して、指導者と子供たちが1年間学びを深めながら大切に積み上げてきた足跡が、演奏している楽器の音色から十分に伝わってきました。また選曲の研究を深めた結果、楽曲を通して「なぜ、何のために、何を身に付けさせたいのか」というねらいが明確な演奏が多くありました。

「デジタル化が進むこの時代に、どちらかと言えば手間や労力がかかるバンド活動。それに取り組む子供たちは素晴らしい！」と、講師の先生方からお言葉をいただき、私たちもバンド活動の意義や価値を再認識しました。

3月の例会は、全演奏の講評をしていただいたスクールバンド・サポーター 田川伸一郎先生をお招きし、演奏会を振り返りながら様々な視点でご指導をいただく予定でしたが、事情により中止となりました。田川先生から、今後へのご示唆を資料にていただきました。明日からの活動にどのように生かすか、各会員で学びを深めてまいりたいと考えます。

開催にあたって、ご協力ご尽力いただいたすべての方々に、心から感謝いたします。



管楽器研究会 副理事長 大谷 美奈子 (豊島・高南小)

# 東京都小学校音楽教育研究会 第63回 研究大会 令和2年度 多摩南ゾーン大会

## 大会主題「見つけよう 深めよう 生かそう 音楽を」

●日時：令和3年1月22日(金)

●会場：午前 調布市文化会館  
たづくり

午後 調布市グリーンホール

●内容：研究授業4本

研究演奏3本

研究発表

研究協議会

講評・講演

学習指導要領改訂の年に、多摩南ゾーンで大会を開催できることを貴重な機会だと捉えて取り組んでいます。令和元年度の全日音研全国大会東京大会の成果を基に、誰もが今すぐ実践したいと感じるような提案を考えています。音楽との出会い、主体的・対話的で深い学び、学びのつながりや評価をキーワードにし、八王子、府中、多摩、稲城、狛江、そして開催地調布の150名がワンチームとなり研鑽に励んでいます。

東京スタジアムがある調布市に皆様にお越しいただき、今後の音楽教育についての理解を深め、互いに交流できる機会になりますことを切に願っております。

## 令和2年度 都小音研 総会

日時：令和2年4月23日(木) 13:35～16:40

会場：多摩市立多摩第一小学校 体育館

交通：京王線 聖蹟桜ヶ丘駅(東改札口)下車 徒歩13分

内容：○公開授業

授業者：多摩市立多摩第一小学校 柳 愛 教諭

題材名：第4学年「音楽で友達とつながろう」

教材：「リズムとなかよくなるろう」

○総会

○講演 「音楽科における指導と評価の一体化」

講師：文部科学省 初等中等教育局教育課程課 教科調査官

文化庁 参事官(芸術文化担当)付 教科調査官

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

志民 一成 先生

○理事会 (令和元年度、令和2年度 新旧両方の理事の方、ご出席ください。)

### 令和2年度 都小音研事業計画の お知らせ

☆ 4月23日(木) 都小音研 総会・研究会・講演会  
(多摩市立多摩第一小学校)

☆ 7月10日(金) 学ぶ理事会

☆ 7月22日(水) 研究大会 第1回拡大実行委員会

☆ 12月10日(木) 研究大会 第2回拡大実行委員会

☆ 1月22日(金) 多摩南ゾーン研究大会  
(調布市文化会館たづくり・調布市グリーンホール)

☆ 2月12日(金) 第57回 児童作曲コンクール



# 第56回児童作曲コンクール審査結果

## 課題詩の部1「空とぶパン」 土屋 律子 詩

- 入選 貝谷秋奈（江東・平久小6年）  
新谷蓮月（足立・東伊興小5年）  
佳作 水田かえ（世田谷・尾山台2年）

## 課題詩の部2「おひるね ねたふり」

小阪 百合子 詩

- 入選 酒井彩音（世田谷・烏山北小5年）  
奥田千晴（大田・大森第一小4年）  
榮真理子・時松理名（江東・越中島小6年）  
佳作 小暮玲芙（江東・越中島小3年）  
城戸晴己（世田谷・尾山台小4年）

## 自由作品の部ア（旋律のみの作品）

- 入選【審査員特別賞】樋口真由  
（練馬・練馬第三小5年）  
宮本麟太郎（江東・平久小5年）  
名子屋凜（葛飾・川端小4年）  
佳作 小林仁南・荻原由弓・久保都琴・佐藤和葉  
（目黒・中目黒小6年）  
高橋璃衣・塩谷穂夏（江東・平久小4年）  
鈴木香凜・中野滯（江東・平久小4年）

## 自由作品の部イ（伴奏等がついたもの）

- 入選【会長賞】嶋田瑛音（町田・南成瀬小5年）  
木村歌音（町田・南つくし野小5年）  
石原優（多摩・多摩第一小4年）  
大橋こころ（足立・淵江小4年）  
水口さくら（あきる野・東秋留小5年）  
佳作 木村壘（東村山・久米川東小5年）  
嘉久瑞采子（目黒・中目黒小5年）

## 学校賞（3年連続して作品応募のあった学校）

- 中央・日本橋小 ○江東・第三砂町小  
○大田・入新井第四小 ○世田谷・烏山北小  
○世田谷・尾山台小 ○練馬・練馬第三小  
○足立・淵江小 ○町田・南つくし野小

♪ 2月14日に授賞式及び入選作品演奏発表会をカスケードホールにて行いました。今年度の受賞作品は入賞作品集としてまとめています。（1冊600円）ぜひ今後の作品づくりにお役立てください。購入希望の方は下記までご連絡ください。

☆問い合わせ先：事業部長 藤井 小百合  
（足立・花保小）

# ♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈12月理事会〉 12/12 於：松原小学校

議長：平沢 朗子（江戸川・南葛西第三小）

○会長あいさつ

○議 事

- 1・2月の行事予定について
- 令和元年度 全日音研全国大会東京大会について
- 第56回 児童作曲コンクールについて
- 令和2年度 都小音研多摩南ゾーン大会について
- ゾーン代表者会議について
- 役員選考委員会について
- 各部より \*庶務 \*会計 \*研究  
\*事業 \*調査 \*広報

〈2月理事会〉 2/14 於：カスケードホール

議長：峯岸 敦子（世田谷・松原小）

○会長あいさつ

○議 事

- 3月の行事予定について
- 令和2年度 都小音研多摩南ゾーン大会について
- 令和2年度 総会・研究会について
- 令和2年度 事業計画について
- 各部より \*庶務 \*会計 \*研究  
\*事業 \*調査 \*広報



## 編集後記

4月より、新学習指導要領完全実施となります。全日音研全国大会東京大会を通して、日々進化していく音楽科教育に携われることに改めて喜びを感じています。さらなる飛躍の年にしていきたいものです。（K）

## 会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 石橋 悟

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288